

事業報告

平成20年4月1日～平成21年3月31日

【1】概況

本年度は、第三次5ヵ年計画の3年目にあたり、都市観光による集客を通じた観光振興が、千葉市の継続的な発展のため大きな役割を担っているという認識に立ち、新たな観光資源の開発、戦略的な情報発信によるシティセールスの推進、受入体制の強化を重点施策に掲げ、会員ならびに地元関係団体と連携し当年度事業を実施した。

観光プロモーション事業については、千葉商工会議所と中心市街地の地域資源掘り起しを行ない、「まち歩き観光」にふさわしい多くの地域資源と、今後の観光活用への可能性を見出すことができた。さらに、当協会で策定した観光モデルコースをもとにJR千葉支社と駅からハイキング「大賀ハス発掘の地と海浜幕張を巡るウォーキング」を開催したところ、首都圏より2,105人が訪れた。

また、創刊11号を迎える「千葉とっておき」は、協会設立25周年を記念し、2010年ゆめ半島千葉国体に向けた特別対談「観光は地域なり」をはじめ350件の観光情報を掲載のうえ8万2千部を発行した。さらに、千葉の観光情報をトータルにサポートするため英語版ホームページを構築し、国内外からの来訪者に対応する観光ポータルサイトを確立した。

観光施設の運営事業については、指定管理者として運営する千葉ポートタワー、千葉市ユースホテル、亥鼻公園集会所の3施設で、年間を通じて自主企画によるイベント等を開催し、積極的な利用者誘致活動を展開した。

管理業務については、大都市観光協会連絡協議会の総会、事務主管者会議を千葉市で開催したことにあわせて、公益法人制度改革における各団体の今後の方向性ならびに移行申請の進捗状況について情報交換を行うとともに、公益法人として公共性、効率性、自主自立が図れるよう組織運営の改善と財務基盤の安定化に務めた。

【2】会議等

1. 第25回通常総会

日時 平成20年5月20日(火) 15時00分～16時50分

場所 三井ガーデンホテル千葉

会員数 753名 出席会員 430名(内委任状 342名)

議題 第1号議案 平成19年度事業報告承認の件

第2号議案 平成19年度収支決算報告承認の件

第3号議案 平成20年度事業計画(案)承認の件

第4号議案 平成20年度収支予算(案)承認の件

第5号議案 理事及び監事の選任について

2. 理事会等

(1) 第1回理事会

平成20年5月14日(木) 13時30分～

千葉中央ツインビル2号館14階 第2ホール

① 議事録署名人の選出

② 議 題 第1号議案 平成19年度事業報告及び決算について

第2号議案 理事及び監事の選任について

第3号議案 顧問の委嘱について

第4号議案 JR駅からハイキングの開催について

第5号議案 新入会員、退会会員の承認について

(2) 第2回理事会

平成20年7月25日(金) 16時00分～

千葉中央ツインビル2号館9階 第2・3会議室

① 議事録署名人の選出

② 議 題 第1号議案 顧問、相談役、参与の委嘱について

第2号議案 専門委員の委嘱について

第3号議案 会員の増強施策について

第4号議案 千葉とっておき2009(第11号)の製作について

第5号議案 観光地美化キャンペーンの実施について

第6号議案 新入会員、退会会員の承認について

(3) 第3回理事会

平成20年12月19日(金) 13時30分～

千葉中央ツインビル2号館9階 第3・4会議室

① 議事録署名人の選出

② 議 題 第1号議案 平成21年度事業計画(案)について

第2号議案 千葉観光文化フォーラムの開催(案)について

第3号議案 専門委員の一部改選について

第4号議案 新入会員、退会会員の承認について

(4) 第4回理事会

平成21年3月27日(金) 13時30分～

千葉中央ツインビル2号館5階 セミナー室

① 議事録署名人の選出

② 議 題 第1号議案 平成20年度補正予算(案)について

第2号議案 平成21年度事業計画(案)及び予算(案)について

第3号議案 情報公開規程の一部改定について

第4号議案 スポーツ観戦への誘客支援に取り組む先進地視察について

第5号議案 新入会員、退会会員の承認について

(5) その他の会議

三 役 会 議	5月14日	7月25日	12月19日	3月27日	
総 務 委 員 会	5月12日	7月23日	9月24日	12月11日	3月19日
企 画 委 員 会	9月12日	12月11日			
観光推進委員会	8月12日	10月17日			
会 計 監 査	5月8日				
所 館 長 会 議	7月9日	8月6日	9月10日	10月8日	11月11日
	12月10日	1月7日	2月10日	3月10日	
千葉市包括外部監査	9月16日				

3. 関係会議

千葉市外郭団体常勤役員会議	4月16日	3月11日		
千葉市外郭団体事務局長会議	4月9日	3月5日		
全日本タワー協議会	4月10日～11日		9月26日	
都市景観市民フェスタ実行委員会	4月15日	5月26日	7月16日	9月17日
千葉市を美しくする会	4月18日	5月9日	6月6日	8月6日
	10月7日	3月5日		
21世紀の船出プロジェクト実行委員会	4月21日	7月16日	1月29日	
ちばプロモーション協議会	4月22日	5月30日		
千葉都心イルミネーション実行委員会	4月23日	7月1日	10月9日	11月25日
	3月26日			
大道芸フェスティバル実行委員会	4月24日	2月2日	3月12日	
ちばYOSAKOI実行委員会	4月25日	6月12日	7月18日	9月18日
	10月22日	12月8日		
まちづくりちば市民の会	5月10日	8月18日	10月20日	12月15日
	1月19日	3月16日		
千葉市民花火大会実行委員会	5月13日	6月17日	7月24日	1月28日
千葉県観光協会	5月16日	5月22日	7月31日	12月16日
	3月24日			
中心市街地まちづくり協議会	5月23日	6月4日	6月23日	7月29日
	10月27日	3月26日		
千葉国体千葉市実行委員会	5月26日	2月10日		
千葉市園芸協会総会	5月26日			
千葉銀座商店街振興組合総会	5月27日			
日本観光協会	5月28日	6月12日		

千葉中央港地区まちづくり推進委員会	5月29日	10月29日		
千葉市民産業まつり実行委員会	5月30日	6月30日	10月9日	12月25日
	2月12日			
千葉ベイエリア観光連盟	6月2日	10月8日	10月28日	3月23日
アロハフェスティバル実行委員会	6月3日	11月11日		
千葉港振興協会総会	6月4日			
ちば産業観光連絡協議会	6月9日			
日本電信電話ユーザー協会総会	6月9日			
稲毛浅間神社祭礼関係会議	6月13日			
千葉地区夏期観光安全対策本部会議	6月13日	9月24日		
大都市観光協会連絡協議会	6月17日～18日		1月22日～23日	
千葉市オリジナル酒造り会議	6月20日	10月15日	2月19日	
千葉港まつり実行委員会	6月24日			
ベイサイドジャズ実行委員会	6月24日	3月17日		
千葉市商業祭	6月26日			
千葉中央地区商店街協議会	6月27日	3月24日		
千葉神社祭礼関係会議	7月3日			
千葉氏フォーラム実行委員会	7月7日	10月1日		
千葉市民オペラ公演会実行委員会	7月15日	12月9日		
千葉市中心市街地活性化協議会	7月24日			
千葉秋芳会理事会	9月17日			
ツインビル共同防火管理協議会	10月3日			
中心市街地地域資源発掘事業研究会	11月16日	11月25日	12月9日	12月25日
	1月14日	1月29日		
都道府県・指定都市観光協会連絡会議	11月26日			
幕張観光情報センター運営協定者会議	11月26日			
中央地区みはる会	12月3日			
千葉市シティセールス推進協議会	12月18日	3月6日		
S L運行千葉市管内連絡会	2月2日			
千葉城さくら祭り実行委員会	2月10日	3月6日		
蓮池合同研究会	2月12日			
千葉市フィルムコミッション連絡調整会議	2月18日			
ランドマークフラワーフェスタ意見交換会	3月18日			

【3】事業

〔1〕観光プロモーション事業

1. 観光意識の普及向上

(1) 第9回千葉観光文化フォーラムの開催

2月25日(木)千葉市文化センターにて、2010年のゆめ半島千葉国体に向け、マルチメディアやインターネットなど、急速な技術革新が進む高度情報社会のなかで、来訪者のニーズを満たすこれからの地域情報の発信の在り方についてフォーラムを開催したところ、217名の参加があった。

今回のフォーラムでは、ウェザーニューズ代表取締役会長の石橋博良氏に「顧客の心を察知した気象情報の提供」をテーマに基調講演。引き続き、ちばぎん総合研究所専務取締役の平田直氏をコーディネーターに、日本放送協会千葉放送局放送部長の熊野裕二氏、NTT東日本千葉支店法人営業部長の成瀬淳氏、JTB首都圏法人営業千葉支店営業課長の池田清則氏、ちばマガジン代表取締役社長の三富啓善氏の参加により、「千葉の魅力を高めるプロモーション戦略」についてパネルディスカッションを行ない、千葉の観光資源のアピールの仕方、ホームページに掲載する情報の見せ方や情報発信を継続するための体制づくりについて意見を伺うことができた。

(2) 講演会の開催

5月20日(火)三井ガーデンホテル千葉で開催した総会時に、ちばぎん総合研究所取締役社長の額賀信氏を講師に迎え、「これからの千葉の観光戦略」をテーマに、今後の千葉における観光振興のあり方と展望について講演をいただいた。

(3) 観光事業功労者の表彰

総会時に、永年にわたり当協会の運営と千葉市の観光振興に寄与された8名の理事に感謝状と12名の会員に表彰状を贈呈した。

10月10日(金)の第42回千葉県観光大会にて、当協会より藤倉清一氏、加藤廣氏、(有)加曾利武井、バーディホテル千葉、(株)マリンピア、(株)早坂、わかまつ柿園が県観光協会会長表彰を受けた。

2. 観光情報の収集・提供

(1) 千葉とおき2009の発行

創刊11号の発行にあたり協会設立25周年を記念し、ちばぎん総合研究所額賀社長と安田会長による特別対談「観光は地域なり」の特集記事と観光スポット350件を掲載のうえ8万2千部製作し、市内外500カ所で配布するとともに、携帯版をJR駅構内、書店他にて販売した。

(2) 中心市街地の地域資源発掘

千葉商工会議所と中心市街地における自然資源や歴史資源をはじめ消費者のニーズにあった風土資源やサービス資源の掘り起こしを行い、「まち歩き観光」にふさわしい112点の地域資源を発掘し、今後の観光活用の方向性を見出した。

(3) 観光ポータルサイトの確立

千葉市の観光情報ホームページで、観光イベントや花の見所の情報をはじめ、食べる・遊ぶ・観るなど「千葉とおき」と連動した情報発信を行うとともに、外国人が自由に市内を散策できるように、英語版ホームページの構築を行った。

(4) 会員への観光情報他の提供

当協会が発行する「協会だより」「観光情報ニュース」「会員名簿」をはじめ観光パンフレットを会員へ送付するとともに、観光写真の貸出しを行った。

3. 観光宣伝及び観光客の誘致

(1) 観光宣伝活動

① J R駅からハイキング「大賀ハス発掘の地と海浜幕張を巡るウォーキング」

7月19日(土) 新検見川駅～海浜幕張駅

当協会の策定した観光モデルコースをもとに、「花の都ちば」のシンボル大賀ハス発掘の地をはじめアミューズメントエリアとして発展する海浜幕張を結んだルートを、J R東日本千葉支社と「駅からハイキング」を開催した結果、首都圏より2,105人の参加があった。

② ちばプロモーション協議会によるキャンペーンへの参加

9月6日(土) 中央公園

秋の全県観光キャンペーン「知らなかったちば」のオープニングと市内観光P Rをベイサイドジャズの会場となる中央公園で行った。

2月13日(金)～15日(日) 千葉みなと駅他

早春の観光キャンペーン「早春ちばめぐり」の主要イベントとして開催されたJ RのS L運行にあたり、千葉ポートタワーで来訪者の受入とS L運行沿線で業務支援を行った。

③ 第29回千葉県フラワーフェスティバル観光キャンペーン

1月8日(木)～12日(月) 三越千葉店

県内の花の生産者が育てた洋ラン・鉢花の展示にあわせて、「花の都・ちば」の見所と観光名所50選を紹介する観光P Rコーナーを設置し、パンフレットを配布した。

④ 千葉ベイエリア観光連盟によるキャンペーンへの参加

10月5日(日) 八千代市

県生涯学習フェスティバルの会場で、観光コースの紹介とパンフレットの配布を行った。

11月20日(木) 浦安市 1月30日(金) 市川市

観光連盟の事務局として、出版社、旅行記者等の観光関係者を招請し、連盟エリアの都市観光の魅力を宣伝するとともに雑誌等への掲載記事の促進を図った。

1月17日(土) 横浜ランドマークプラザ

県観光協会主催の「フラワーフェスタ2009」で、観光スポットや特産品のP Rを行った。

(2) 観光客誘致活動

① 第7回千葉城さくら祭り

3月28日(金)～4月6日(日)

千葉開府の地にあたる亥鼻公園を会場に、タウンウォーキング、夜桜見学会などの行事を実施した結果、57,000人の来場者があった。

(実施内容) 夜桜ライトアップ、夜桜見学会、おしるこ無料配布、地元物産品の販売
茶会(いのはな亭)、タウンウォーキング、ちびっこ広場、観光写真コンクール他

② 第31回千葉市民花火大会

8月2日(出)

千葉市、千葉商工会議所、当協会で行行委員会を組織し、千葉ポートパークを会場に開催した結果、会場内の観客は20万人であった。

(実施内容)

7号玉(37発) 5号玉(84発) 4号玉(375発) スターマイン(37基) 合計 8,000発

③ 第53回千葉市菊花展同俳句会(市委託事業)

10月31日(金)～11月9日(日)

花の美術館を会場に、千葉市、千葉秋芳会の共催により菊花展と俳句会を開催した結果、期間中の人出は2万人であった。 菊花展出品数(350点) 俳句投句数(60句)

④ 千葉ポートタワー クリスマスファンタジー 2008

11月15日(出)～12月25日(木)

イルミネーションツリーの点灯にあわせ、クリスマスキャンドルナイト、千葉ロッチマリーonzデー、ジェフユナイテッド千葉デー他を実施した結果、来館者は24,984人であった。

⑤ 第19回千葉都心イルミネーション

11月30日(日)～1月12日(月)

千葉市、千葉商工会議所、中央地区商店街と当協会にて実行委員会を組織し、JR千葉駅から中央公園、周辺商店街にかけて、イルミネーションの点灯を行った。

⑥ 千葉の親子三代夏祭り

8月16日(出)～17日(日) 中央公園周辺

安田会長はまつり部会長として、太田専務は実行委員として参加した。期間中の人出は、前夜祭 1万2千人、本祭り33万人であった。

⑦ 千葉港まつり

8月16日(出)～22日(金)

港まつり実行委員会の構成員として参加し、千葉神社のみこし渡御の音頭行進の支援を行った。

⑧ 第79回都市対抗野球大会千葉市代表チームの応援(市委託事業)

千葉市代表として、JFEスチール(株)東日本製鉄所の全国大会(東京ドーム)出場にあたり、郷土芸能「千葉おどり、総州太鼓」の披露と応援を行った。

(対戦成績)

1回戦 8月31日(日) 対伯和ビクトリーズ(東広島市) 3:0 JFE東日本勝利

2回戦 9月4日(木) 対セガサミー(東京都) 8:7 JFE東日本勝利

3回戦 9月6日(出) 対新日本ENEOS(横浜市) 0:1 JFE東日本敗れる

⑨ アロハフェスティバル in CHIBA 2008

9月13日(出)～14日(日) 中央公園

アロハフェスティバル実行委員会が主催となり、フラのステージ発表、ライブ等のイベントを開催した結果、期間中の人出は1万2千人であった。当協会からは安田会長が実行委員長、太田専務が実行委員として参加した。

⑩ 2008千葉氏フォーラム

10月18日(土) 県教育会館ホール

千葉市、千葉商工会議所、千葉氏顕彰会と当協会で実行委員会を組織し、「ちばの歴史・文化を観光資源に」をテーマに基調講演、シンポジウムを開催した結果、200人が参加した。

⑪ ちばYOSAKOI 2008

10月25日(土)～26日(日) 中央公園周辺、千葉ポートタワー他

ちばYOSAKOI実行委員会が主催となり、県内外からの参加チームによるコンテストを開催した結果、76チーム4,000人の参加があった。当協会から安田会長が実行委員長、太田専務が実行委員として参加した。

⑫ 大道芸フェスティバル in ちば 2009

3月22日(日) 中央公園、きぼ～る他

大道芸フェスティバル実行委員会が主催となり、毎月第4日曜日の大道芸の日ならびにフェスティバルを開催した結果、延べ20,202人の人出であった。当協会からは安田会長が実行委員長、太田専務が実行委員として参加した。

(3) その他

① 第35回千葉市民産業まつり

11月3日(月)に開催された産業まつりに、実行委員会の構成員として参画するとともに、会場内ブースで観光情報の提供を行った。

② 後援・協賛事業

春まつり、潮風サイクリング、動物公園の四季写真コンテスト、ちばYOSA海幕祭、寒川御浜下りフォトコンテスト、商業祭、写真千葉県展、都市景観市民フェスタ、エコメッセちば、千葉県俳句大会、親子三代夏祭り撮影会、ベイサイドジャズ、ツールドちば、Club YEG DanSpark、サウンド in ちば、市民春の俳句大会、栄町まちづくり社会実験、千葉県菊花大会他

4. 受入体制の整備・強化

- (1) JNTOよりビジットジャパン案内所(「i」案内所)として認定を受けている観光情報センターにて、ビジットジャパンキャンペーンとタイアップして外国人来訪者への各種案内を行った。
- (2) 外国人来訪者の利便性の向上を図るため、英語版観光情報ホームページを構築するとともに、観光情報の多言化に向け関係団体との調整を行った。

5. 観光地の美化清掃

(1) 観光地美化キャンペーン

11月24日(月)に、千葉ベイエリアの海浜リゾート「いなげの浜・検見川の浜」で美化キャンペーンを開催。当協会役員、会員をはじめ地元自治会、市民ボランティアなど約320名により、海岸のゴミ回収作業を行い環境保全を図った。

(2) 中心市街地クリーンアップ作業

7月12日(出)、3月14日(出)に、中心市街地まちづくり協議会と中央地区みはる会の共催するクリーンアップ作業に、役職員が参加し、中心市街地の清掃作業と違法広告物等の除去作業を実施した。

(3) 8月3日(日)に、千葉市と協力して、花火大会会場(千葉ポートパーク)の清掃を実施した。

6. 観光関係団体との連絡協調

(1) 千葉市外郭団体等連絡協議会の役員会に太田専務、事務局長会に木村事務局長が出席し、外郭団体の経営改善に関する情報交換を行った。

(2) 全日本タワー協議会総会ならびに実務者会議に出席し、タワー運営に関する意見交換を行った。

4月10日～11日(名古屋東山スカイタワー) 9月26日(さっぽろテレビ塔)

(3) 大都市観光協会連絡協議会の総会ならびに事務主管者会議を千葉市で開催。当協会は協議会の幹事として、各都市における現状課題に関する意見を取りまとめるとともに、市内にある観光素材をもとに研修視察を行った。6月17日～18日 1月22日～23日

(4) 日本観光協会の観光情報システム連絡会議に出席し、全国地域観光情報センター事業について意見交換を行った。5月13日

(5) 千葉ベイエリア観光連盟の事務局として、会議ならびに観光客誘致活動を行った。

(総会) 6月2日、(理事会) 10月8日、(担当者会議) 10月28日、3月23日

7. 観光情報センターの運営(JR千葉駅・JR海浜幕張駅)

(1) 観光情報センター実施計画及び幕張観光情報センターの基本協定に基づき、国内外からの来訪者に観光情報の提供を行った。

(2) 利用状況

案 内 項 目		千葉市観光情報センター (JR千葉駅)	千葉市幕張観光情報センター (JR海浜幕張駅)
市内案内	公共施設案内	3,434件	2,089件
	レジャー案内 (ホテル・旅館・観光施設)	8,193件	4,977件
	イベント案内	1,620件	3,242件
	ビジネス・生活案内 (民間施設・ショッピング・飲食)	8,238件	16,674件
	交通機関案内	5,862件	5,719件
	市内案内計	27,347件	32,701件
市外案内		3,854件	5,932件
総計		31,201件	38,633件
(内外国人案内)		(2,938件)	(4,491件)
(内インターフォン案内)		(71件)	

[2] 観光施設の管理運営及び収益事業

1. 千葉市ユースホステル等の管理運営

- (1) 指定管理者制度のもと施設の維持管理及び経営管理を行なうとともに、新たな利用者の誘致に向け、ホテル見学会、シイタケ栽培体験等の自然環境を活かした宿泊プランを実施した。
- (2) 利用状況

利用者総数		15,012名
内 訳	ユースホステル	3,688名
	キャンプ場	11,324名
利用料金収入		8,446,700円
内 訳	ユースホステル	7,421,600円
	キャンプ場	1,025,100円

2. 亥鼻公園集会所の管理運営

- (1) 指定管理者制度の3年目にあたり、施設内トイレと内装他の修繕を行ない茶会等グループの誘致に向け営業活動を実施した。
- (2) 利用状況

利用件数（利用者数）	82件（2,095名）
利 用 料 金 収 入	169,320円

3. 千葉ポートタワーの管理運営

- (1) 指定管理者制度のもと施設の維持管理及び経営管理を行うとともに、木下大サーカスや早春キャンペーンのSL運行との連携をはじめ年末年始の臨時開館により集客向上を図った。
- (2) 利用状況

入館者総数		159,749名
内 訳	有料入館者	98,361名
	無料入館者	61,388名
利用料金収入		36,648,285円
内 訳	入館料	35,750,085円
	望遠鏡使用料	898,200円

4. 観光施設利用者への利便の提供と物品販売

- (1) 千葉市ユースホステル食堂の運営

宿泊利用者に地元野菜を取り入れた食事を提供するとともに、キャンプ場利用者にバーベキュー用具等の貸出しを行った。

(2) 千葉ポートタワー売店・ラウンジの運営

ポートタワー1階の売店では、県内の優れた味や技を持つ特産品を購入いただける店舗を目指し、「ちば観光物産館」として5月にリニューアルオープンした。展望ラウンジについても360度景色が楽しめる店舗に改装しグループ、団体利用の誘致を行なった。

(3) 亥鼻公園茶店の運営

亥鼻公園、茶室の利用者に、市推奨土産品「いのはな団子」をはじめ甘味類の販売を行なうとともに、イベント開催時に臨時売店を設置し、地元物産品の販売を行なった。

(4) ツインビルレストラン及びマリンスタジアムレストランの運営

ツインビルの「味工房」は地元食材を家庭料理風に味わせる店舗として来店者の再利用が増えるとともに、マリンスタジアムの「フードコートちば」はスタジアムの名物になった「もつ煮」が、来場者より土産商品として高い評価を受けた。

(5) 煙草の販売

競輪場ならびに当協会の事業所で煙草販売を行ない、施設利用者への利便提供を図った。

〔3〕管理業務

(1) 会員増強施策の推進

平成20年度は当初753会員のもと、会員の参画事業や会員特典の見直しを行ない会員増強活動を展開した結果35会員の新規入会を頂いたが、事業廃止等による退会者も44会員あり会員数744となった。

(2) 都市観光推進に向けた先進地視察

11月13日に、年間550万人の観光客を集める「小江戸川越」の魅力づくりと越ヶ谷に誕生した国内最大級のエコショッピングセンター「イオンレイクタウン」を23名の理事、専門委員により視察を行なった。

(3) 公益法人制度改革に向けた調査研究

大都市観光協会連絡協議会の事務主管者会議にて、政令市の各団体における移行申請の方針、移行作業の進捗状況等について調査、意見交換を行なった。

(4) 業務推進態勢の整備

第三次5ヵ年計画に基づき、公共性・効率性・自主自立の視点から経営改善を進めるため、規程の改定ならびに人事制度改革と人材育成の推進を図った。